

化学生物総合管理学会 第2回 学術総会 化学生物総合管理の新潮流への展望と挑戦

11月1日(火) 10:00~18:45

《開催案内》

EU の REACH をはじめ、化学生物総合管理は今や国際的な流れを無視しては議論出来ない時代になっている。国内外の動きを捉えつつ私たちの採るべき方策を考える必要がある。ナノ技術は実用化の段階と言われる中で、ナノ粒子・材料の健康・環境へのリスクに関する評価方法などの検討を進める必要が叫ばれている。

こうした動向に詳しい方々から最新の情報や実情を披露していただく学術総会を企画いたしました。尚、今回の学術総会は(株)日立製作所の協賛をいただき、第5回日立環境ソリューション・フォーラムとの合同開催です。

多数の皆様の参加を期待いたします。

会場：日立・東お茶の水ビル 2階 大会議室
(千代田区神田駿河台4-6)
JR 御茶ノ水駅聖橋口下車 徒歩1分
地下鉄千代田線新御茶ノ水駅B2出口 徒歩1分
地下鉄丸の内線御茶ノ水駅下車 徒歩3分

参加料：無料[事前登録制]

化学生物総合管理学会の会員以外の方も参加登録可能

参加をご希望の方は氏名、連絡先(所属、E-mail アドレスまたはFAX番号)、終了後の意見交換懇親会(無料)の出欠予定を下記の事務局にメール、FAXのいずれかでご連絡ください。折り返し参加証をお送りします。

E-mail:cb-jim@cbims.net FAX:03-5978-5096

特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会

TEL:03-5978-5018

プログラム (受付開始 : 9:30 ~)

10:00 ~	開会挨拶	化学生物総合管理学会会長 増田 優
10:10 ~	化学物質総合管理を巡る最近の国内外の動向 ナノ材料開発と標準化 ナノ材料の開発の現状と社会 日英ワークショップを踏まえて ナノ材料のリスク評価と管理	みずほ情報総研(株) 永田 裕子 独)産業技術総合研究所 阿多 誠文 独)物質・材料研究機構 竹村 誠洋 財)化学物質評価研究機構 高月 峰夫
12:10 ~	<昼食休憩>	
13:15	午後の部開始	
13:20 ~	[講演] 感染症 昨日・今日・明日	国立感染症研究所長 倉田 毅
14:00 ~	[講演] 化学物質と免疫	東京大学医科学研究所教授 高津 聖志
14:40 ~	製品環境品質ライフサイクル総合管理へのチャレンジ 化学物質関連法律体系の変革 <休憩>	(株)日立製作所 市川 芳明 お茶の水女子大学 星川 欣孝
16:10 ~	化学物質総合管理のための評価指標 有害性評価およびリスク評価手法の開発 NEDO「化学物質総合評価管理プログラム」における取組み SIAM (OECDの化学物質初期評価会議)における評価の実際 界面活性剤の生態リスク評価 暴露評価における精度向上 1400物質のGHS分類と問題点	財)化学物質評価研究機構 窪田 清宏 財)化学物質評価研究機構 石井 聡子 日立化成工業(株) 松尾 克郎 日本石鹼洗剤工業会 三浦 千明 財)化学物質評価研究機構 川原 和三
18:40 ~ 18:45	閉会挨拶	(株)日立製作所 主管 市川 芳明
19:00 ~ 20:00	意見交換会(懇親会)	

